

## 富士五湖

「富士五湖」という名前は比較的新しいものです。富士山周辺の湖は何世紀にもわたって人気の観光名所となっていました。この名称が初めて造られたのは、1927年に起業家で政治家だった堀内良平が新聞社の日本で最も美しい景色を選ぶコンテストに応募した時でした。ある意味では、この名前により富士五湖が完全に近代化された観光地となったのです。

湖自体は富士山の北側を背にして弧を描くように並んでいます。富士五湖は、西から東の順で、本栖湖、精進湖、西湖、河口湖と山中湖で、山中湖は他の4つの湖よりも大きく、また富士山に最も近い場所に位置しています。しかし、この地形は、比較的新しいもので、度重なる火山活動により形作られたものです。

最も西側にある3つの湖は、かつては古剝の海というひとつの大きな水域でした。本栖湖は、4,500年前に溶岩流により剝の海から最初に切り離された湖です。901年に編纂された正史、日本三代実録では864年の貞観大噴火で「地球と岩が溶け」剝の海の残りに「流れ込んでいった」様子を記述しています。この噴火は青木ヶ原樹海の下の大池を生み出しただけでなく、今日の精進湖と西湖を分断させました。地質学者は、本栖湖、精進湖と西湖は水位が同じことから、まだ地下でつながっていると考えています。何世紀もの間繰り返された噴火はまた、富士山の北東側の河川を堰き止め、流れを変え、河口湖と山中湖が現在の形になりました。

これらの湖にはそれぞれ独自の特色があります。山中湖は、最も大きく、また富士山に最も近く、水のスポーツ愛好家に人気のある湖です。河口湖は標高が最も低く、これらの湖で唯一の島、うの島があります。西湖の北側にある山地への近さにより、素晴らしいハイキングを体験することができます。最も小さい湖、精進湖には、富士五湖の中で最初に西洋式のホテルが湖岸に建てられました。そして、本栖湖は富士五湖の中で最も深く、最も遠く離れているため、キャンパーに人気があります。もちろん、富士五湖のひとつひとつから独特の富士山の景色を楽しむことができるため、写真家の間で人気のスポットとなっています。